

変数(variable)とは、  
計算結果等を一時的に保存する(後で利用する)ための名前付きの格納庫。

## 演習3:

# 変数の利用(教科書2.1.2節)

記号=(assignment)は、  
数学における等号(左右が等価)ではない。

### コード, プログラム, スクリプト(教科書の例+α)

```
1 pi = 3
2 radius = 11
3 print(pi)
4 sent = 'radiusの値は' + str(radius) + 'です'
5 print(sent)
6 area = pi * (radius**2)
7 print(area)
8 radius = 14
9 print(radius)
```

記号\*\*は、N乗演算子。  
記号()は、演算順序の優先順位を明示するための記号。

### コードの意味

1. 変数piを用意し、右辺の評価結果(int型の値3)に紐付けろ≒保存しろ(bind, assign)。
2. 変数radiusを用意し、右辺の評価結果(11)を保存しろ。
3. 変数piの値を出力しろ。
4. 変数sentを用意し、右辺の評価結果(str型の文字列)を保存しろ。
5. 変数sentを出力しろ。
6. 変数areaを用意し、右辺の評価結果を割り当てろ。右辺には演算が指示されているので、その指示に基づいて評価せよ。
7. 変数areaの値を出力しろ。
8. 変数radiusを用意しようとしたが、radiusは既に存在しているので、中身を14に上書き保存しろ。
9. 変数radiusの値を出力しろ。